

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)		(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義について職員間での話し合いを持ち「私らしく、貴方らしい生活の継続,豊かな心でゆったりとありのままに生活が出来るように」という理念を基に身近な郵便局、ショッピングセンター、銀行などに利用者の作品の展示を行い、楽しみと自信につなげながら地域での生活継続に努めるようにしている	○	さらに地域の中でも活かせる理念を構築し、少しでも永くその人らしい生活の継続が出来るように地域と関わっていくようにする。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の内容について職員会議等でも個々の取り組みについて話し合いを持ち実践に向けている。	○	職員全員が共有できるよう日取り組んでいくようにする。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ホールに掲示し家族等には入所時に説明、理解して頂くようにしている。又、地域の方たち等にも見学等のときに説明し理解を求めるようにしている。又デイ新聞等に記載し、地域に配布している。		
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩や近所の喫茶店に立ち寄り、挨拶を交わしたり話しかけてもらうようにしている。		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の小学生、中学生に、ボランティア活動、実習として訪問してもらっている。又、郵便局、地域のスーパーで作品展を行ったり自分の住んでいた地域の祭りに出かけている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	本人、家族の思いを聴き、状況を把握し、時には、ケアマネージャー、地域支援センター等、と連携を取りながら認知症ケアの啓発に努めている。人材育成として実習生の受け入れを行っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価の取り組み、サービスの向上に努めている。管理者、職員で話し合いながら点検し、結果はミーティング等で報告しながら改善点があれば改善へむけて検討、実践につなげている。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の運営推進会議で施設運営や利用者状況について、話し合い質問、意見を受け、自己評価の取り組みの結果についても話し合い、サービス向上へとつなげている。	○	運営推進会議に同法人の他施設(特に係わりの多い特養)の職員にも参加してもらい意見交換を行いサービスの向上を図る。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の運営するケア会議等に参加し意見交換、情報交換等をおこなっている、又電話等で連絡し合っている。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護制度事業、後見人制度等の研修に参加し、話し合いを持ち必要ときに支援できるよう努力している。現在は該当者はいない。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止関連法等の研修会に参加し報告会で職員間で共有し事業所内での虐待は見過ごさないように努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>利用開始前に家族、利用者、職員と一緒に説明会をおこない不安点、疑問点を理解、納得をしていただいている。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者の言葉、態度から思いを察する努力をし利用者本位の運営を心がけている。今は利用者、管理者、職員間とのコミュニケーションが取れているので不満、苦情ははっきりと表現される。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>健康状態、金銭管理に対しては、家族の来園時に確認していただいている。又、介護計画書を見てもらいその都度サインをもらっている。職員異動に関する事項は予め説明している。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の意見等は、来園時に話合いを持つようにし、出された要望等はミーティングで話合い反映するようにしている。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会、ミーティングの際に自分の意見を持って出るように周知している。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>可能な限り勤務調整を行うようにしている。</p>	
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>新しい職員が入る場合は利用者にきちんと紹介している。デイサービスと兼務であるため出来る限りGHに訪れ馴染みの関係を構築している。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	法人内でOJT、JST等グループ別の研修会又、研修報告会等で職員間の意識改革、トレーニングをおこなっている。	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	他のGHへの見学など、ケア会議、市主催の勉強会等に参加情報交換し、サービスの向上に向けてとらんでいる。	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	法人サークル活動等への参加呼びかけたり、事業所内懇親会、職員旅行など職員間のコミュニケーションをはかりなるべくストレスのたまらないように心がけている。	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	職員の資格取得への支援を行い又、OJT等を活用しながら、個人面談等を時々行い、本人の意向を聞き職場で活かせるような環境づくりに努めている。	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	事前に利用者と家族と一緒に見学してもらい、不安なこと、施設に求めておられること等を聴き受けとめるようにする。	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	本人、家族の思い、今までのサービスの利用状況を聴き、状況を把握しながら、時には、ケアマネージャー、地域支援センター等、と連携を取りながら必要なサービスにつなげるにしている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人やご家族の思い、状況等を確認し、改善に向けた支援の提案、相談を繰り返す中で信頼関係を築きながら必要なサービスにつなげるようにしている。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人もGHに見学にきていただき、入所後においても家族、知人などに来園してもらい安心して生活していただけるよう家族等と話し合う。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	生活の知恵、物の大切さを教えてもらったり、お互い意見を言い合い自己主張を受け入れていくようにしている。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	利用者の状況や職員の思いを家族を巻き込んで情報の共有に努め、家族と同じ思いで一緒に支えていくようにしている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ケアポート祭り、誕生日に来園して頂いたり、四季の衣類の交換等に訪れてもらって家族に本人の状況、思いを伝えてもらう。又、電話連絡を取り合っている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友人、親戚の方等と手紙のやり取りをしたり墓参りに行ったり、面会にきてもらうようお願いする。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	お茶、食事の時間に職員も一緒に会話をしているが、現在、利用者同士良い友人関係、姉妹のような関係が保たれている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	利用終了後(入院等)、家族等には行事案内など送付し、来園して歓談したり思い出の話をしたりしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の生活スタイルに合わせて生活していただくようにご家族や関係者から情報を得るようにしている。現在は、希望等をしっかりと言葉で言われる。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人、家族、支援事業所等より生活歴環境、暮らし方について経過等を聴き把握し介護計画書に取り入れている。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	生活のリズム、心身状況を常に把握し、変化を見逃さないようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日々の関わりの中で本人が快適な生活が出来るように本人、家族、計画作成担当者、スタッフ等を交えて介護計画の作成を行っている。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は期間に応じて見直しを行い、又、状態変化が生じた場合は見直しを行い、計画の見直しをおこなっている。	○	介護計画は、状況の変化が生じた場合、その都度家族、関係者と話し合い、見直しを行っていく。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録にケア内容、結果、見直し、など記録して次への計画に反映するようにしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、家族の状況に応じた通院、送迎等は柔軟に行って対応し個々の安心感、満足感を高めるようにしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	本人といろいろな地域との接点を探し地域の公共施設の利用、ボランティアの協力を呼びかける等の働きかけてしている。(近くの図書館で個人の利用カードをを造り利用していただいている。)		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	地域の図書館、近隣の事業所レストラン、保育所、訪問理容等を利用してもらっている。	○	近隣のGH、特養、ケアハウス等とも連携を取りながら、本人の必要性を考慮し、地域との交流を深めていくように支援している。。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に地域包括支援センターの職員が参加しており、支援に関する情報交換を行っている。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望するかかりつけ医となっている。利用者の体調変化や健康面で心配事がある場合はその都度連絡を取り、相談できる関係作りをしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	<p>重度化に向けて当GHで「出来ること、出来ないこと」を見極め家族、医師とともに今後の状況変化についての対応を話し合い、検討を行っていくようにしている。</p>
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	本人の誇りを大切に考えプライバシーを配慮しながら個人個人の対応の仕方に配慮している。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	職員側が決めて押し付けるのではなく、買物等に出かけたり、食事に出かける等本人の希望にそって買物等をしていただく。日常、自分が使用する食器等も本人にえらんでもらっている。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人にとって規則正しい生活をしていただいているが、一人ひとりの生活の流れを考慮しながら支援していくようにしている。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	来園された理容師の方又、家族と一緒に行きつけの美容室に行き、カット、毛染め、などされている。又、ボランティアのメイクさんにお化粧をいってもらいテレながら、嬉しそうに職員に見せに来られる。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と相談しながら昼食、夕食の一品、おやつ作りをおこなっている。畑でみんなと収穫した野菜を献立に取り入れたり、食材と一緒に買いに行っている。利用者の希望で近くのレストランでの外食又、出前を頼むこともある。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲物、おやつ等は、個人の状況にあわせて好みのものをのんでいただけるようにしている。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄のパターン、トイレのサインを把握し、トイレでの排泄が出来るように支援している。(現在全員トイレ使用)		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	なるべく、本人の希望にあわせた入浴時間としている。(利用者の希望は、夕食までに入浴を済ませておきたい)		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	なるべく日中の活動を取り入れ散歩、外気浴など本人の生活リズムを整えその日の体調にあわせて、自分の気持ちの良い場所で個別に休息している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日々の食事作り、片付け、花、野菜の水遣り等の役割の外に梅酒作り、ちまきづくり、、干柿、干し大根作り等経験や知恵を生かす場所をつくるよう支援している。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人ひとりで少額ではあるがサイフをもって、買物、食事に出かけた際に自分で支払をして、おつりをもらって処理をするようにしていただいている。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人の希望により買物はショッピングセンター又、図書館等に出かけるようにしている。一人ひとりの状況にあわせてGHの近隣を散歩している。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	遠出したいとの思いを実現に向けて対策を話し合い検討しながら支援につなげている。 彼岸、盆等の墓参り、暮らしていた町内の祭り、行事に家族と出かけてもらうようにしている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	暮らしていた町内の人又は友人、遠くの子供たちに手紙のやり取り、FAXやり取りをおこなっている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	いつでも気軽に自由に来園してもらって、個人の居室、別なスペースを用意し、居心地よく過ごしてもらうようにしている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はまったく行わないということを職員全員周知徹底している。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵は掛けないようにし、自由な暮らしを支援している。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	一人ひとりに合わせて声かけをしたり、居室に訪問したりする等、日中、夜間、利用者の状況を把握し、安全を確認している。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	厳重に管理が必要なもの、保管・管理の必要なもの、利用者を使う時注意してもらうものを分けて管理しておく、又、危険と思われる品物は無くすのではなく、職員間で話し合いを持つようにしている。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハットを記録し職員の意識を高め事故防止へとつなげるようにしている。職員会議、研修報告等を通して職員間に周知徹底するようにしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルを作成し応急手当等の勉強会を実施し、職員間の意識、技術を高め緊急時対応できるように努めている。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得て避難訓練、避難経路の確認、消火器の使い方の訓練を年に2回行っている。周りの施設、町内会、公共事業所等には協力を働きかけている。	○	更に避難後の地域、周辺施設等の協力を働きかけ協力を得るようにする。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	常に家族と利用者のことについて、状態の説明をし、対策についても話合うようにしている。又、グループホームの中で自由な生活をして頂くよう取り組んでいることを説明し理解して頂くようにしている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	一人ひとりの身体状況については常時把握し、食欲、顔色等の体調の変化の見られた時は、バイタルチェックを行い特変事の記録をつけている。職員全員が情報の共有に努めている。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の目的用法や用量については常時、作成してある一覧表の確認をし、服薬を行う。本人の状態、経過、変化を観察し主治医の指示を仰ぐ場合もある。又、服薬時は本人に手渡しをし、きちんと服薬できているか確認する。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	下剤の使用はできる限り避けて、水分補給を充分に行うようにすすめ、オリゴ糖、センナ茶、繊維の多い食材、乳製品を取り入れている。又、身体を動かす機会を多くし自然排便が出来るように取り組んでいる。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	一人ひとりに毎食後口腔ケアの声かけをし、就寝前の義歯の洗浄を行ってもらうように手伝いながら口の中の清潔を保つように配慮している。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランス、水分量の確保については管理栄養士に相談しながら支援している。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防マニュアルを作成し予防、対応に努めている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒予防のため衛生管理はマニュアルにそって行い、食材は常に新鮮なものを使うよう気配りをしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	2階に居室等があるため、階段、2階の玄関には花を置いたり、利用者の作品等で壁面飾りをして明るい雰囲気づくりを工夫している。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用と一緒に考えながら季節感を取り入れ、明るさ、音等を配慮し、居心地の良い空間づくりに心がけている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有の空間であるホールに家具、テーブル、ソファ等を置き、又、畳をしいて冬にはコタツ等を出し、自由にすごしていただくようにしている。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	なるべく以前使っておられたタンス、カガミ、写真等をおいていただき不安のない居心地の良い居室にするようにしている。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	外気温度に併せて温度調節、換気を行いながら、利用者の状況に合わせている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すり、すべり止を取り付け安全を確保し可能な限り自分で行動をしていただき自分らしく生活してもらうようにしている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個人に合わせたリズムで日々生活していただくように職員は気配りをし、話しをよく聴いたり、一緒に過ごすよう心がけている。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物前の庭では、花だけでなく畑のスペースを確保し、野菜の苗植え、水やり、草取り、収穫をして野菜の成長を楽しむにしている。又窓際に鉢植えを置き、室内に緑を取り入れ癒しの空間を心がけている。		

V. サービスの成果に関する項目

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input checked="" type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/> ④ ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input checked="" type="radio"/> ① 毎日ある
		<input type="radio"/> ② 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/> ③ たまにある
		<input type="radio"/> ④ ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input checked="" type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/> ④ ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input checked="" type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/> ④ ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が
		<input checked="" type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/> ④ ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input checked="" type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/> ④ ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input checked="" type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/> ④ ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input checked="" type="radio"/> ① ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/> ② 家族の2/3くらいと
		<input type="radio"/> ③ 家族の1/3くらいと
		<input type="radio"/> ④ ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほほ毎日のように
		<input checked="" type="radio"/> ②数日に1回程度
		③たまに
		④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	①大いに増えている
		<input checked="" type="radio"/> ②少しずつ増えている
		③あまり増えていない
		④全くいない
98	職員は、活き活きと働けている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が
		②職員の2/3くらいが
		③職員の1/3くらいが
		④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
		②利用者の2/3くらいが
		③利用者の1/3くらいが
		④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が
		②家族等の2/3くらいが
		③家族等の1/3くらいが
		④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

利用者個人の思いを大切に、生活リズム（体内リズム）が出来る限り持続できるよう支援していきたいと日頃職員間で話し合いながら努力している。同建物の中のデイサービスをフル活用し、デイサービスの行事の参加、送迎車利用で遠出（もみじ見物、花見、美術館見学、近隣平野の散策）等、四季折々の自然を楽しんでいただいている。同法人等の保育所より遊びに訪れてもらい「孫、ひ孫」といった関係を持ってもらっている。